

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2021.3.1(月)
No. 268

ついでに タブレット 導入開始

始業からの使用は有効か 人間的な思考が保障されるか

昨年末に悉皆の研修として視聴した「Pick off フォーラム」に対して疑問や怒りの声が市教組に次々と寄せられています。教育長はこのギガスクール構想実施にあたって、「さいたまモデル」と付記し、さいたま市がいち早くこの教育を導入すると宣言しました。しかし、コロナ禍において、「新しい学校生活様式」のもと、現場は感染から子どもたちや保護者・教職員自身の命と健康を守り、教育活動を進めていくことで精いっぱい毎日です。あのような研修・動画を見せられると、今まで自分たちがやってきたことは何だったのか、この状況でこれからやっていくのかという疑問は拭うことができません。毎日、朝から帰りまで机の上にタブレットが

乗っかっている状態で子どもたちの人間的な思考活動は保障されるのでしょうか。小学校新入児が筆

一日の始まりから大混乱

朝一からのタブレット使用やめよ

研究所長の話の中で、「近い将来、こんな一日がやってきます」というイラストによる解説がありました。「保管庫から自分のタブレットを取り出して、ログイン」とありますが、保管庫の実物を一瞥になりましたか？ 地区によっては、納品された保管庫が高学年くらいの子どもでも、一人で上からふたを開け、手で押さえながら端末を取り出すのは不可能な構造になっていきます。一人でやったら、絶対に大けがをします。帰りの収納についても同様です。

そして、とうとうタブレットの運用について、具体的な指示が学校によって出されてきましたが、まさに危惧していたおりのことが指示されています。

例えば「朝の健康観察をタブレットに打ち込む」ことです。単純に考えても、始業前にキーボックスから収納のカギを取り出し、児童・生徒がタブレットを取り出してログイン、打ち込みまでの作業



ついでに 不安

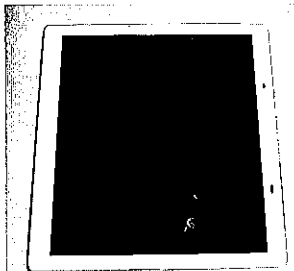
で10分は要すると思われる。先日紹介した上扉の収納庫であれば、教師がふたを開け、ケーブルを外して子どもたち一人一人に手渡す場合、15分は必要です。帰りの収納、充電のセットでも同様の時間を要します。今の過密日程の中に、さらにこのような時間を組み入れることは可能でしょうか。

一日の始まりを、タブレットのセッティングではなく、「おはよう」の声で子どもたちを出迎え、昨日叱責してしまつた子どもに、いち早く声を掛け、病休明けの子どもにも、体調を確かめ、ねぎらうのが教師の仕事のほうです。

また、タブレットの中ほどの程度の学習コンテンツが組み入れられるかについてはいまだに不透明です。デジタル教科書

の導入も全教科が自由に使用できるわけではなく、各学校で「二教科のみ」だったり限られた配信だそうです。その教科をどうするかで現場は混乱しています。

多くの職場では「できるところからやっていきましよう」と管理職は現場を慮って声がけしてくれませんが、市教委の勢いは本当にその心構えで進めてくれるのでしょうか。



「新しい校舎授業の設置」や「すべての教職員に、体系的な研修体制を構築していく」ことが3学期や新年度に導入され、いきなり現実離れた無理難題を現場に押し付けてこないか、今から疑心暗鬼となり、不安はつづきます。とにかく、健康観察でのタブレット使用は撤回していただきたい。

GIGASCHOOL の構想がめざす

教育の市場化と 公教育の解体がねらい

2019年に突然発表された「GIGASCHOOL構想」とは、そもそも何なのでしょ

の言うまでもありません。つまり、教育の主人公は子どもではなく、「Society 5.0」の社会像実現のため、教育と学習の空間は、最新テクノロジーがフルに駆使される格好の市場に編成されるという危険性を孕んでいることに目を向けていくことが必要です。

その内容は「一人一台の端末の配備、日本の学校を高速大容量の通信ネットワークで結んで校内LANも整備」というもので、まさに今さいたま市が急速に進めている教育施策と合致しています。日本の教育におけるICT環境の整備は、先進諸国と比較すると「周回遅れ」だと言われています。その前提として注目すべきは、2016年に閣議決定された国家戦略としての「Society 5.0」です。財界にとって「Society 5.0」は、新たな成長産業の創出です。30年にわたる経済低迷と成長戦略の「手詰まり」を打開するために、情報通信関連のインフラ

「個別最適化」の名の下に、教育課程、学年・学級、一斉授業といった学校制度の基本的な枠組みを解体するとともに、民間事業者の公教育への参入のハードルをかなり低くし、「教育の市場化」「公教育の解体」が狙われていること。さいたま市GIGASCHOOL構想キットオフフォーラムを視聴したみなさんは感じられなかったでしょうか。